

福山会長を囲んでの広島県支部総会

麻布大学同窓会広島県支部総会を、令和2年2月16日（日）にホテルセンチュリー21で、国会会期中のお忙しい中を麻布大学同窓会 福山 守会長の御臨席をいただき開催しました。

当日の参加者は、会員27名、来賓の会長を含め28名（28.7%の出席）でした。人数としては例年並みの参加者でした。

13時から役員会を行った後、総会を14時から開催しました。

初めに物故者に黙祷を行いました。一昨年度から亡くなられる方が複数おられ、昨年度も残念ながら2名の方がお亡くなりになりました。どこの支部も同様かもしれませんが、若い人の同窓会離れがあり、高齢化した会員が、病気等によりやむなく退会されて、当支部も100名を超えていた会員数が、100名を割ってしまいました。

それから、来賓の挨拶等いただいた後、議長を選任しお決まりの事業報告、収支決算、次年度事業案、収支予算案を行い、任期満了による役員改選を行い新体制が決まり、事業報告を行って総会は円滑に終了しました。

その後、福山会長から「これからの日本が進むべき道」と題して、講演をいただきました。我々は、国会とか大臣とかということは、テレビやラジオで聞くくらいでしたが、国の内情、大臣や官僚のこと等困っている国民の問題をなかなか国民の身になって解決しない官僚や行政のことをお聞きし残念でしたが、少し国会が身近に感じられました。環境問題、温暖化、海洋プラスチック等の問題は国や官僚に任せるだけでなく、子孫に残さないよう我々国民もみんなで考える必要があるなど考えさせられる有意義な講演でした。

懇親会の場でも、福山会長の同級生も参加しており、昔話等にも花が咲いて盛り上がった総会となりました。

遠路、多忙な中を御出席いただいた福山会長に感謝申し上げます。

《文責田中啓一》



第51回麻布大学同窓会 広島県支部 令和2年2月16日 於 ホテルセンチュリー21広島